

## 質疑・回答書

告示番号	第299号	件 名	豊中市立二ノ切温水プール改築工事
No	質疑事項	回 答	
	(仮設・一般)		
1	監督職員事務所の規模仕上の程度について現場説明書によるとありますが詳細が不明です。ご指示下さい。	監督職員事務所は現場事務所内に20㎡程度(建築・電気・機械共同で使用)独立したもの、原則上履き使用、流し台・打合せ用会議スペース・工事用看板を設置することとします。備品は事務用消耗品、OA機器等の事務用備品等を監督職員と協議の上、受注者の負担にて用意することとします。	
2	2020年10月中仮使用認定、11月初旬引越しとありますが引越期間は1週間程度と考えて宜しいでしょうか。	引越し、運用準備として1ヶ月程度見込んでいます。	
3	A-014図に工事業者指定駐車場約40台とありますが、敷地東側駐車場(77台)から約40台お借りできると考えて宜しいでしょうか。	図面番号A-014仮設計画図(1)(参考図)に記載の「工事業者想定駐車台数 約40台」は指定駐車場はありません。仮設駐車場は仮囲い内で設けることとし、図面番号A-009特記仕様書(追記事項1)に記載の通り、駐車場の不足については、受注者の負担にて近隣で確保することとします。	
	(構造)		
4	埋戻し及び盛土の種別において、A種・B種共に適用となっておりますが、B種を採用と考えて宜しいでしょうか。 (A-002)	原則としてB種とし、既設建物解体後埋戻しはA種とします。掘削した汚染土は汚染土として公共場処分を行うこととします。	

5	<p>コンクリート強度について、使用箇所に基礎・基礎梁、基礎梁天端～RFL床と記載がありますが、Fc24-S15は基礎部・地下部(1FL以下)、Fc24-S18は地上部と考えて宜しいでしょうか。 (S-01)</p>	<p>Fc24-S15は基礎梁天端までとし、基礎梁天端～1階床スラブ及び2～R階床スラブはFc24-SL18とします。</p>
6	<p>コンクリートの混和材料について、高性能AE減水剤が適用とありますが適用範囲が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。 (S-02)</p>	<p>範囲は基礎・礎柱・基礎大梁・基礎小梁・柱・梁・壁・スラブ(土間コンクリート除く)とし、単位水量の上限である185kg/m<sup>3</sup>を超える場合、高性能AE減水剤を適用することとします。</p>
7	<p>矩計図1階スラブ下に断熱材と防湿シートの記載がありますが、範囲が不明です。土に接する建屋内スラブ下と考えて宜しいでしょうか。 (A-031)</p>	<p>防湿シートは土に接する建屋内スラブ下とします。断熱材は土に接する建屋内スラブ下のほか、床下にピットがある部分は図面番号A-020の一般事項に記載の通りピット天井にPF板(押出法ポリスチレンフォーム保温板)打ち込みとします。</p>
8	<p>構造概要に基礎版下は地盤改良とありますが、適用範囲が不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。 (S-16)</p>	<p>杭基礎のため、不要とします。ただし、プール槽下部で汚染土壌処分範囲で埋め戻し部分は、図面番号A-080プール詳細図(2)にあるよう、地耐力は49kN/m<sup>2</sup>以上確保するため、セメント系固化材50kg/m<sup>3</sup>で改良することとします。</p>
9	<p>基礎伏図において、床版天端はFL-10とするとありますが、基礎伏図に記載の床版はピットスラブのため、レベルが不明です。御指示下さい。 (S-19)</p>	<p>図面番号A-031矩計図(1)から図面番号A-033矩計図(3)に記載の通りとします。</p>

10	<p>Nデッキプレート相当品設計・施工標準において、<math>t=0.8</math>と<math>1.0</math>が適用とありますが、各範囲の使い分けが不明です。全て<math>t=0.8</math>と考えて宜しいでしょうか。<math>t=1.0</math>を適用の場合、範囲御指示下さい。 (S-13.21)</p>	<p>図面番号S-13Nデッキプレート相当品設計・施工標準の「スラブ厚さ別許容スパン早見表」に記載のとおり、<math>0.8\text{mm}</math>で許容スパンを越える場合が<math>1.0\text{mm}</math>となります。ただし中間支保工を設け、図面番号S-13Nデッキプレート相当品設計・施工標準の「中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表」を満足すれば、全て<math>0.8\text{mm}</math>で構いません。</p>
11	<p>EVピット底版配筋図において、S5短辺上端筋D13@100とありますが、床版リストでは@200とくい違います。床版リストを正と考えて宜しいでしょうか。 (S-33.34)</p>	<p>床版リストのD13@200を正とします。</p>
12	<p>テラス、プールサイド床版配筋図において、YA+2040通りに梁の様な図示がありますが、基礎伏図に符号が無く不明です。詳細御指示下さい。 (S-34.19)</p>	<p>YA+2040通りの梁は、図面番号S-19基礎伏図のとおり「プール層下部仕様は意匠図参照」とし、図面番号A-080プール詳細図(2)B-B断面詳細図によるものとし、高さは<math>1510</math>とします。</p>
13	<p>階段室壁、床版配筋図において、壁<math>t=200</math>・配筋縦筋D13@150・横筋D10@200とありますが、基礎伏図ではW18配筋縦筋D13@200・横筋D10@200とくい違います。階段室壁、床版配筋図を正と考えて宜しいでしょうか。 (S-34.19)</p>	<p>図面番号S-34配筋詳細図の「階段室壁、床版配筋図」を正とします。</p>
14	<p>機械室基礎伏図で基礎底面深さはSGLからとありますが、基礎リストでは1FLからとくい違います。基礎伏図SGL(B1FL-220)からを正と考えて宜しいでしょうか。 (S-39.41)</p>	<p>図面番号S-39機械室各階伏図の基礎伏図を正とし、SGLからの深さとします。</p>

15	<p>機械室消火水槽のレベルについて、基礎伏図ではSGL-790(B1FL-1010)ですが、矩計図(2)ではB1FL-1250程とくい違います。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。 (S-39.A-032)</p>	<p>図面番号S-39機械室各階伏図を正とし、B1FL-1010とします。</p>
16	<p>機械室基礎伏図で斜線部(右流れ)印床版天端はSGL-2080とありますが、伏図上に同斜線がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。 (S-39)</p>	<p>不要とします。</p>
17	<p>現況レベルが不明です。掘削開始レベルを御指示下さい。</p>	<p>現況レベル及び掘削開始レベルは、別添の芝生広場レベル図によるものとします。</p>
18	<p>鉄骨のボルトについて需給が逼迫しております。比較的手に入りやすい外国製を使用しても宜しいでしょうか。</p>	<p>原則、国産製品を使用することとしますが、外国製を使用する場合はF10TやF8TはJIS規格を満足するもの、S10Tは大臣認定品とし、かつ監督職員の承諾を得たものとします。</p>
	<p>(外部)</p>	

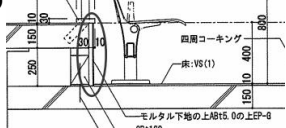
19	<p>アスファルト防水の押えコン内のワイヤーメッシュのサイズが不明です。Φ6.0 @100と考えて宜しいでしょうか。 (A-063&lt;D-11-1&gt;)</p>	<p>図面番号A-020に記載の通り、溶接金網Φ6.0 @100とします。</p>
20	<p>屋上出入口2の小階段の鉄筋は不要でしょうか。 (A-064&lt;D-12-9&gt;)</p>	<p>図面番号A-064部分詳細図(7)&lt;D-12-9&gt;屋上出入口2の小階段の鉄筋はタテヨコ共D-10@200、イナズマ筋D-10@200とします。</p>
21	<p>手摺に溶融亜鉛メッキ処理の指定仕上とありますが指定仕上の仕様が不明です。御指示下さい。 (A-064&lt;D-14-2&gt;)</p>	<p>図面番号A-064部分詳細図(7)&lt;D-14-2&gt;手摺の指定仕上の仕様はメッキ処理表とします。</p>
	<p>(内部)</p>	
22	<p>1階倉庫及び器具室の床仕上 合成樹脂塗床の仕様が不明です。塗床E(1)と考えて宜しいでしょうか。 (A-020.021)</p>	<p>図面番号A-20仕上特記凡例表の塗床E(1)防滑仕上とします。</p>

23	<p>2階DSの床下地について、仕上表で下地の記載が無いのでF1(セルフベリング)となりますが、F2(コンクリート直均し仕上)に読み替えて宜しいでしょうか。 (A-020.021)</p>	<p>図面番号A-20仕上特記凡例表のF2(コンクリート直均し仕上)とします。</p>
24	<p>屋内階段(2)の蹴込部の仕上について、屋内階段(1)の様にフレキシブルボードの記載がありませんが、鉄骨PL面にVS(3)接着貼と考えると宜しいでしょうか。 (A-034.035)</p>	<p>鉄骨PL面にVS(3)接着張とします。</p>
25	<p>WC及びパウダールームにおいて、カウンター廻りの壁仕上がタイル貼りとなっておりますが、タイルの仕様が不明です。タイル(3)と考えると宜しいでしょうか。 (A-020.021)</p>	<p>図面番号A-21仕上表のタイル貼(カウンター廻り)は、図面番号A-20仕上特記凡例表のタイル(4)とします。</p>
26	<p>仕上特記凡例表 一般事項において、軽鉄間仕切ボード面に陶器質タイル張りを行う場合、接着張りとし、下張りFKt=8とする。とありますが、軽鉄間仕切ボード面に磁器質タイル張りを行う場合も同様と考えると宜しいでしょうか。 (A-020)</p>	<p>軽鉄間仕切ボード面に磁器質タイル張りを行う場合も同様とします。</p>
27	<p>上記質疑で宜しい場合は、耐火間仕切壁の場合は、耐火認定工法の上にFKt=8とする。とありますが、一般間仕切壁もGB-Rt=12.5+12.5の上にFKt=8と考えると宜しいでしょうか。 (A-020)</p>	<p>一般間仕切壁もGB-Rt=12.5+12.5の上にFKt=8とします。</p>

28	<p>矩計図(1)において、ホールにスチール見切縁SOP塗装とありますが、<math>t=1.6</math> 170×25程度と考えると宜しいでしょうか。 (A-031)</p>	<p>図面番号A-031矩計図(1)ホールのスチール見切縁SOP塗装は、<math>t=1.6</math> 170×25程度とします。</p>
29	<p>矩計図(3)において、ホールにロールスクリーンボックスとありますが、仕様は部分詳細図(5)のカーテンボックス(St製)に倣って宜しいでしょうか。 (A-033.062)</p>	<p>図面番号A-062部分詳細図(5)のD-9-14カーテンボックス(St製)及び図面番号A-066部分詳細図(9)の電動ロールスクリーンに記載のとおりとします。</p>
30	<p>矩計図(3)において、ラウンジの下り壁下端にアルミ見切縁とありますが、サイズは20×20程度と考えると宜しいでしょうか。 (A-033)</p>	<p>図面番号A-033矩計図(3)ラウンジの下り壁下端のアルミ見切縁について、サイズは20×20程度とします。</p>
31	<p>MWC(2)において、小便器部分に汚垂タイルの図示がありませんが、図面通り不要と考えると宜しいでしょうか。 (A-037)</p>	<p>不要とします。</p>
32	<p>プールサイド排水溝において、仕上に「エポキシ系塗料」と記載ありますが、合成樹脂塗床E(1)と考えると宜しいでしょうか。 (A-032.058)</p>	<p>図面番号A-058部分詳細図(1)のD-1-34排水ピット(樹脂製)に記載している「エポキシ系塗床仕上」は、図面番号A-020仕上特記凡列表の塗床E(1)とします。</p>

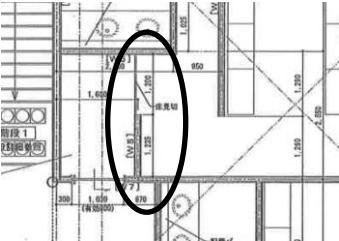
33	<p>耐火被覆について指示がありませんが、不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>不要とします。</p>
34	<p>プールサイドにおいて、X3通りのFL+2700ラインの天井仕上について、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矩計図・・・アルミスパントレル</li> <li>・天井伏図・・・不燃バスリブ</li> </ul> <p>アルミスパントレルを正と考えて宜しいでしょうか。 (A-033..046)</p>	<p>図面番号A-046天井伏図(1)を正とし、採暖室前の設備ダクト接続部のみアルミスパントレルとします。</p>
35	<p>プールサイドにおいて、仕上表に巾木H500と記載がありますが、矩計図と展開図で巾木高さが下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矩計図・・・X3ラインのみH300タイル(2)</li> <li>・展開図・・・全面H500</li> </ul> <p>展開図を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-033)</p>	<p>展開図を正とし、全面H500とします。</p>
36	<p>プールサイドにおいて、Y6通りにホリカーホネート板の図示がありますが、Y6通りは全面W10凡例となっております。ホリカーホネート板範囲(X4からX8通り)は添え壁不要と考えて宜しいでしょうか。 (A-038.044)</p>	<p>添え壁は不要とします。</p>
37	<p>ピット平面図において、ピット高さの記載がありますが、断面図と高さが相違しています。平面図の高さを正と考えて宜しいでしょうか。 (A-022)</p>	<p>図面番号A-022地階、ピット平面図のピット高さの記載を正とします。</p>

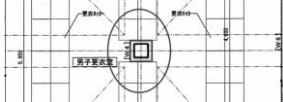


38	SSD1A額縁について、ステンレス製と指示がありますが、厚みが不明です。t=2.0程度と考えて宜しいでしょうか。	図面番号A-052建具表(2)のSSD1A・SSD7・SSD8について額縁はt1.5、HLとします。
39	プールとビニル床シート取り合い部にシーリング(シリコン系10×10)を見込んで宜しいでしょうか。	図面番号A-080プール詳細図に記載の通りシリコン系シーリング(SR-1)10×10とします。
40	1Fホールにおいて、下り天井の下地が不明です。PB t9.5と考えて宜しいでしょうか。 (A-034)	1Fホールにおける下り天井の下地は、GB-NCt9.5とします。
41	1Fホールにおいて、鉄骨梁の塗装が下記の様に違いがあります。 ・矩計図(3)・・・DP ・天井伏図(1)・・・EP-G 矩計図(3)を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-033.046)	図面番号A-033矩計図(3)のDP塗装を正とします。
42	2Fギャラリにおいて、下図内段差部の納まりにおいて、CBと2Fスラブの間に隙間ができるため、マタルス+モルタル下地+AB t=5.0+EP-Gと考えて宜しいでしょうか。 	マタルス+モルタル下地+AB t=5.0+EP-Gとし、CB上部隙間はモルタル充填とします。

43	<p>HWCにおいて、衣服用フック(2か所)とありますが、詳細・仕様が不明です。御指示下さい。 (A-037)</p>	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)のHWC(1)に記載の衣服用フック(2か所)は、別途工事とします。</p>
44	<p>1FWCにおいて、下記は工事区分では給排水となっておりますが、平面詳細図では実線表記となっております。工事区分表を正とし、別途と考えて宜しいでしょうか。 ・手摺 ・ベビシート ・ベビチェアー (A-011.037)</p>	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)のMWC(1)及びWWC(1)に記載の手摺・ベビシート・ベビチェアーは、別途工事とします。</p>
45	<p>2FWWCにおいて、展開図(4)で巾木仕上がVS(2)巻上 H=100とありますが、仕上表より、床仕上はFVS(1)のため、FVS(1)巻上 H=100と考えて宜しいでしょうか。 (A-021.044)</p>	<p>床仕上はFVS(1)巻上 H=100とします。</p>
46	<p>屋内階段2において、階段詳細図(2)より床仕上がLP(1)とありますが、凡例が不明です。FLP(1):防塵用塗料塗と読み替えて宜しいでしょうか。 (A-035)</p>	<p>図面番号A-20仕上特記凡例表のFLP(1)防塵用塗料塗とします。</p>
47	<p>B1F消火ポンプ室において、壁、天井の仕上が仕上表では、壁:素地、天井:直天となっておりますが、矩計図(2)及び展開図(1)ではGWの様な図示となっております。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-021.032.041)</p>	<p>図面番号A-032矩計図(2)及び図面番号A-041展開図(1)のGWを正とし、詳細は図面番号A-059部分詳細図(2)「D-5-33」に記載のとおりとします。</p>

48	<p>B1F機械室において、基礎にC、D等符号がありますが、リストがなく詳細が不明です。サイズは平面詳細図(4)のサイズとし、高さは矩計図(2)及び展開図(1)より、CはH=500、それ以外はH=150と考えて宜しいでしょうか。 (A-032.040.041)</p>	<p>サイズは図面番号A-040平面詳細図(4)に記載のとおりとし、高さは図面番号A-032矩計図(2)及び図面番号A-041展開図(1)に記載のとおり、CはH=500、それ以外はH=150とします。</p>
49	<p>機械基礎において、仕上は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・天端…コンクリート直押え+防塵塗装(FLP(1)) ・立上り…打放補修+防塵塗装(FLP(1))</p>	<p>機械基礎の仕上は、天端・立上り共、コンクリート直均仕上(金鏝)とします。</p>
50	<p>B1F機械室において、段鼻タイルの仕様・詳細が不明です。磁器質タイル t=10 150×60 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 (A-040)</p>	<p>図面番号A-040平面詳細図(4)B1F機械室の段鼻タイルは、磁器質タイル t=10、150×60とします。</p>
51	<p>1F指導員男子更衣室等内カーテンレールについて、部分詳細図に詳細がございません。全てステンレス製と考えて宜しいでしょうか。 (A-037.A-046)</p>	<p>図面番号A-062部分詳細図(5)の「D-9-27カーテンレール(天井直付)(アルミ製)」に記載のとおりとします。</p>
52	<p>1F倉庫(X2-3/Y4)の中木・壁仕上・CHについて、仕上表に記載がございません。2F倉庫(1)に倣い、下記と考えて宜しいでしょうか。(A-021) 中木…VS(1) 壁…VB(2) CH…2500</p>	<p>1F倉庫(X2-3/Y4)の中木・壁仕上・CHは、中木VS(1)、壁VB(2)、CH2500とします。</p>

53	<p>1・2FSK(X2-3/Y1-2)の仕上・CHについて、仕上表に記載がございません。HWC(1)に倣い、下記と考えて宜しいでしょうか。 (A-021) 床・・・タイル(5) 巾木・・・床材立上げ H=100 壁・・・MP(2) 天井・・・GB-NC(T)</p>	<p>1・2FSK(X2-3/Y1-2)の仕上・CHは、床:FVS(1)、巾木:床材立上げH100、壁:FK(2)、天井:GB-NC(T)、CH::2500とします。</p>
54	<p>更衣室、パウダールームにおいて、、床仕上にVS(1)、タイル(2)と指示がありますが、平面詳細図において床見切縁の図示がありません。全て更衣室床仕上タイル(1)の仕上と考えて宜しいでしょうか。 (A-021.037)</p>	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)更衣室及びパウダールームについて、床仕上及びSUS製床見切縁は別添の床仕上・見切縁図によるものとします。</p>
55	<p>平面詳細図において、1F女子更衣室と前室との間に、下図赤丸図示の通り床見切の図示がございます。前室の床仕上はビニル床シートと考えて宜しいでしょうか。(A-021.037)</p> 	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)更衣室及び前室について、床仕上及びSUS製床見切縁は別添の床仕上・見切縁図によるものとします。</p>
56	<p>展開図において、1F指導員室内に収納式ベッドの図示がございますが、部分詳細図に詳細がございません。建築工事の場合、詳細をご指示ください。 (A-041)</p>	<p>図面番号A-010特記仕様書(追記事項2)に記載の参考メーカー品番「(株)オカムラ製作所LT736X-PB26」同等品以上とします。</p>

57	<p>指導員更衣室において、ロッカーの図示がありますが、詳細図が無く、サイズ・対応人数等詳細が不明です。御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)指導員男子更衣室及び指導員女子更衣室のロッカーの台数は男女それぞれ3人用2台・10人用1台とし、寸法及び仕様については図面番号A-066部分詳細図(9)の更衣ロッカー(職員用)によるものとします。</p>																		
58	<p>男子更衣室において、下図赤丸内のロッカーについて、サイズ・対応人数等詳細が不明です。御指示下さい。</p> 	<p>W450 3段(3人分)とします。</p>																		
	<p>(建具)</p>																			
59	<p>トイレブース・シャワーブースについて、下記のように寸法が違いま す。平面詳細図・展開図を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-037.039.041~045.053)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">〈平面詳細図・展開図〉</th> <th style="text-align: center;">〈建具表〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・TB-1・・・ W1085×H2500</td> <td>W542.5×H1250</td> </tr> <tr> <td>・TB-2・・・L(1985+1650)×H2500</td> <td>L(1042.5+825)×H1250</td> </tr> <tr> <td>・TB-3・・・L(2220+900)×H2500</td> <td>L(1110+450)×1250</td> </tr> <tr> <td>・TB-4・・・L(1840+2020+1650×2)×H2500</td> <td>L(920+1010+825×2)×H1250</td> </tr> <tr> <td>・TB-5・・・L(2000+1600×2)×H2500</td> <td>L(1000+800×2)×H1250</td> </tr> <tr> <td>・TB-6・・・H2500</td> <td>H1250</td> </tr> <tr> <td>・SB-1・・・L(3540+900×3)×H2000</td> <td>L(1770+450×3)×H1000</td> </tr> <tr> <td>・SB-2・・・L(3740+900×3)×H2000</td> <td>L(1870+450×3)×H1000</td> </tr> </tbody> </table>	〈平面詳細図・展開図〉	〈建具表〉	・TB-1・・・ W1085×H2500	W542.5×H1250	・TB-2・・・L(1985+1650)×H2500	L(1042.5+825)×H1250	・TB-3・・・L(2220+900)×H2500	L(1110+450)×1250	・TB-4・・・L(1840+2020+1650×2)×H2500	L(920+1010+825×2)×H1250	・TB-5・・・L(2000+1600×2)×H2500	L(1000+800×2)×H1250	・TB-6・・・H2500	H1250	・SB-1・・・L(3540+900×3)×H2000	L(1770+450×3)×H1000	・SB-2・・・L(3740+900×3)×H2000	L(1870+450×3)×H1000	<p>図面番号A-037平面詳細図(1)・図面番号A-039平面詳細図(3)・図面番号A-041展開図(1)から図面番号A-045展開図(5)を正とします。</p>
〈平面詳細図・展開図〉	〈建具表〉																			
・TB-1・・・ W1085×H2500	W542.5×H1250																			
・TB-2・・・L(1985+1650)×H2500	L(1042.5+825)×H1250																			
・TB-3・・・L(2220+900)×H2500	L(1110+450)×1250																			
・TB-4・・・L(1840+2020+1650×2)×H2500	L(920+1010+825×2)×H1250																			
・TB-5・・・L(2000+1600×2)×H2500	L(1000+800×2)×H1250																			
・TB-6・・・H2500	H1250																			
・SB-1・・・L(3540+900×3)×H2000	L(1770+450×3)×H1000																			
・SB-2・・・L(3740+900×3)×H2000	L(1870+450×3)×H1000																			

60	<p>下記建具について、以下の様に寸法がくい違います。建具表 W×H欄を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-051)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">〈建具表 W×H欄〉</td> <td style="text-align: center;">〈建具表 姿図〉</td> </tr> <tr> <td>・AW-6・・・ W7700×H800</td> <td>W3850×H400</td> </tr> <tr> <td>・AW-7・・・ W21430×H800</td> <td>W10715×H400</td> </tr> <tr> <td>・AW-8・・・ W21135×H2300</td> <td>W10567.5×H1150</td> </tr> <tr> <td>・AD-2・・・ W4470×H2950</td> <td>W2235×H1475</td> </tr> <tr> <td>・ACW-1・・・W7800×H8300</td> <td>W3900×H4150</td> </tr> <tr> <td>・ACW-2・・・W11590×H2600</td> <td>W5795×H1300</td> </tr> <tr> <td>・SS-1・・・ W3800×H2690</td> <td>W1900×H1345</td> </tr> <tr> <td>・SS-3・・・ W6800×H2690</td> <td>W3400×H1345</td> </tr> </table>	〈建具表 W×H欄〉	〈建具表 姿図〉	・AW-6・・・ W7700×H800	W3850×H400	・AW-7・・・ W21430×H800	W10715×H400	・AW-8・・・ W21135×H2300	W10567.5×H1150	・AD-2・・・ W4470×H2950	W2235×H1475	・ACW-1・・・W7800×H8300	W3900×H4150	・ACW-2・・・W11590×H2600	W5795×H1300	・SS-1・・・ W3800×H2690	W1900×H1345	・SS-3・・・ W6800×H2690	W3400×H1345	建具表 W×H欄を正とします。
〈建具表 W×H欄〉	〈建具表 姿図〉																			
・AW-6・・・ W7700×H800	W3850×H400																			
・AW-7・・・ W21430×H800	W10715×H400																			
・AW-8・・・ W21135×H2300	W10567.5×H1150																			
・AD-2・・・ W4470×H2950	W2235×H1475																			
・ACW-1・・・W7800×H8300	W3900×H4150																			
・ACW-2・・・W11590×H2600	W5795×H1300																			
・SS-1・・・ W3800×H2690	W1900×H1345																			
・SS-3・・・ W6800×H2690	W3400×H1345																			
61	<p>上記質疑のACW-1に関して、寸法が下記の様にくい違います。建具詳細図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-051.054)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具詳細図(1)・・・W7615×H7350.2～8273.2</li> <li>・建具表(1)・・・W7800×H7350～8300</li> </ul>	図面番号A-054建具詳細図(1)を正とします。																		
62	<p>前述質疑のACW-2に関して、寸法が下記の様にくい違います。建具表(1)を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-051.057)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表(1)・・・H2600</li> <li>・建具詳細図(1)・・・H2400</li> </ul>	図面番号A-051建具表(1)を正とします。																		
63	<p>AG-2・3について、下記の様に寸法がくい違います。建具表 姿図を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-051)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">建具表 姿図</td> <td style="text-align: center;">建具表 W×H欄</td> </tr> <tr> <td>・AG-2・・・</td> <td>W1480×H2650</td> <td>W2650×H1480</td> </tr> <tr> <td>・AG-3・・・</td> <td>W1000×H2650</td> <td>W2650×H1000</td> </tr> </table>		建具表 姿図	建具表 W×H欄	・AG-2・・・	W1480×H2650	W2650×H1480	・AG-3・・・	W1000×H2650	W2650×H1000	建具表 姿図を正とします。									
	建具表 姿図	建具表 W×H欄																		
・AG-2・・・	W1480×H2650	W2650×H1480																		
・AG-3・・・	W1000×H2650	W2650×H1000																		

64	<p>エレベーター詳細図(2)において、点検扉が建築工事となっておりますが、仕様・数量が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。(EV-002)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様・・・片開き片面フラッシュ戸 SOP仕上</li> <li>・数量・・・1ヶ所</li> </ul>	仕様は片開き片面フラッシュ戸 SOP仕上、数量は1ヶ所とします。
65	<p>建具表(1) AW-51について、硝子欄にランマ:FL5と記載がありますが、姿図にランマの記載がありません。全てT8と考えて宜しいでしょうか。使い分けがある場合は、それぞれの範囲を御指示下さい。(A-051)</p>	全てT8とします。
66	<p>確認ですが、建具表(2) SSD4等において、硝子欄にF4と記載がありますが、建具共通事項のガラスの略号に記載がありません。型板ガラスと考えて宜しいでしょうか。(A-048.052)</p>	図面番号A-052建具表(2)の建具記号SSD-4等の硝子欄に記載のF4については、フロート板ガラス(FL)t=4とします。
67	<p>建具表(2) SSD-4について、型式欄に壁内蔵片引き扉と記載がありますが、平面詳細図では、壁付とくい違います。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。(A-037.049.052)</p>	図面番号A-037平面詳細図(1)を正とし、壁付とします。
68	<p>建具表(2) SSF-1・2について、仕上が不明です。プール用塗料と考えて宜しいでしょうか。(A-052)</p>	図面番号A-052建具表(2)の建具記号SSF-1及びSSF-2の仕上は、HLとします。

69	<p>下記建具について、取り付け位置がSK・PSとなっているため、片面フラッシュ戸と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LD-6A</li> <li>・LD-7</li> </ul> <p>(A-052.053)</p>	<p>図面番号A-052建具表(2)の建具記号LD-6A及び図面番号A-053建具表(3)の建具記号LD-7の扉は、片面フラッシュ戸とします。</p>
70	<p>建具表(2) SS-1・2について、型式欄に鋼製と記載がありますが、金物欄にスラット:SUS製 t1.5 HLと記載があり、くい違います。型式欄を正とし、鋼製と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-052)</p>	<p>図面番号A-052建具表(2)の建具記号SS-1及びSS-2についてはステンレス製とし、スラットはSUS製t1.5HLとします。</p>
71	<p>上記質疑が正の場合、仕上は焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-052)</p>	<p>図面番号A-052建具表(2)の建具記号SS-1及びSS-2についてはステンレス製とし、スラットはSUS製t1.5HLとします。</p>
72	<p>確認ですが、建具表(2) SS-3について、仕上欄に扉:焼付塗装と記載がありますが、可動袖扉のことと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-052)</p>	<p>可動袖扉のことになります。</p>
73	<p>上記質疑に関して、建具表(2) SS-3について、スラットの仕上がHLとなっておりますが、鋼製のため、HLではなく、袖扉同様焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-052)</p>	<p>図面番号A-052建具表(2)の建具記号SS-3のスラットは溶融亜鉛メッキ鋼板とします。</p>



74	<p>建具表(3) SS-3について、マグサ・座板の仕様の記載がありませんが、建具共通事項 一般共通事項 8)シャッター共通事項に化粧座板・マグサ・ガイドレール・スイッチボックスのカバーはステンレス304HL仕上とすると記載があるため、ステンレス HLと考えて宜しいでしょうか。 (A-048.052)</p>	<p>ステンレス304HLとします。</p>
75	<p>建具表(2) SS-1～3・SSH-1のシャッターケースについて、下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・天井内隠蔽型 スチール 素地仕上 (A-052)</p>	<p>SS1、SS2、SSHはスチールの上防錆塗装の上プール用塗装仕上とし、SS3は天井内隠蔽型スチール素地仕上とします。</p>
76	<p>建具表(2) SS-1～3・SSH-1について、型式欄に重量バランスシャッターと記載がありますが、バランスシャッターは軽量手動シャッターと思われず。重量バランスシャッターではなく、重量シャッターと考えて宜しいでしょうか。 (A-052)</p>	<p>重量シャッターとします。</p>
77	<p>上記質疑に関して、シャッターは全て電動シャッターと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>すべて電動シャッターとします。</p>
78	<p>シャッターについて、全て常開と考えて宜しいでしょうか。 (A-052)</p>	<p>全て随時閉鎖(常開)とします。</p>

79	<p>建具共通事項 建具金具などの種類・仕様において、視線制御フィルムのメーカー品番が住友3M ローターノ同等品となっておりますが、LD2Aの飛散防止フィルム グラデーションタイプに適用と考えて宜しいでしょうか。 (A-048.052)</p>	<p>LD2Aの飛散防止フィルム グラデーションタイプに適用とします。</p>
80	<p>乳白フィルムのメーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>参考メーカー品番については住友3M SH2BMML同等品以上とします。</p>
81	<p>(SS-1~3・SSH-1のシャッター三方枠について、SS-3のみ枠の記載がありますが、SS-1・2、SSH-1は不要と考えて宜しいでしょうか。 (A-052)</p>	<p>枠はSS-3の袖扉枠を示しており、SS-1・2、SSH-1は不要とします。</p>
82	<p>上記質疑が異なる場合、枠の材質・仕上を御指示下さい。</p>	<p>図面番号A-052建具表(2)に記載のとおりとします。</p>
83	<p>部分詳細図(4)&lt;D-7-12&gt;建具廻り(鉄骨造・引違い窓)(ECP)において、水切下シーリングのみシングルシーリングとなっておりますが、建具共通事項 1)共通事項に枠が外壁と同面または出ている場合の上枠には水返しをもうけ、躯体との間はダブルシーリングを施すと記載があるため、ダブルシーリングと考えて宜しいでしょうか。 (A-048.061)</p>	<p>水切り部は図面番号A-061部分詳細図(4)&lt;D-7-12&gt;に記載のとおり、水切下シーリングのみシングルシーリングとし、他はダブルシーリングとします。</p>

84	<p>上記質疑に関連して、建具詳細図(4)についてもシングルシーリングをダブルシーリングに読み替えて宜しいでしょうか。 (A-057)</p>	<p>枠廻りはダブルシーリングとします。</p>
85	<p>外壁押出成形板部の建具枠廻りにおいて、ロックール充填を見込むと考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>不要とします。</p>
86	<p>建具共通仕様 3)アルミ製建具 共通事項において、サッシと膳板・額縁の隙間には結露防止断熱材を入れると記載がありますが、断熱材の仕様・厚みが不明です。御指示下さい。 (A-048)</p>	<p>エチレンプロピレンジエンゴム(EPDM)5mmとします。</p>
87	<p>建具表(1) AW-6・10Iについて、硝子がFG(型板ガラス)5となっておりますが、型板ガラスの5mmは一般品ではありません。取り付け位置がホールのため、FL(フロートガラス)5Iに読み替えて宜しいでしょうか。 (A-051)</p>	<p>型板ガラスt=4とします。</p>
88	<p>建具表(1) SD-2Iにおいて、備考欄に額縁と記載がありますが、平面詳細図の図示より外部 2階設備機器置場に取り付けのSD-2×1ヶ所のみに見込むと考えると宜しいでしょうか。 (A-039.040.051)</p>	<p>外部2階設備機器置場に取り付けのSD-2×1ヶ所のみとします。</p>

89	<p>建具表(1) AW-2・3、AG-1～4において、ダケ接続用アングルの記載がありますが、サイズが下記の様にくい違います。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表・・・L-50×50×5</li> <li>・部分詳細図(7)&lt;D-13-11&gt;・・・L-30×30×3 (A-051.064)</li> </ul>	<p>図面番号A-051建具表(1)を正とし、L-50×50×5とします。</p>
90	<p>建具表(1) AW-9において、額縁欄にアルミ製と記載がありますが、採暖室詳細図では、額縁スプルス(採暖室工事)とくい違います。プール側をアルミ額縁、採暖室側をスプルス額縁(採暖室工事)と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-051.082)</p>	<p>両側共アルミ製とします。</p>
91	<p>建具表(1) ACW-1のガラスについて、C部のガラスの仕様が下記の様にくい違います。建具詳細図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-051.054)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具詳細図(1)・・・FL6</li> <li>・建具表(1)・・・LE6</li> </ul>	<p>図面番号A-051建具表(1)を正とし、Low-Eガラス(LE)t=6とします。</p>
92	<p>ACW-1において、建具詳細図(1)では引分け戸横がFIXとなっておりますが、建具表ではFIXではなく×の図示とくい違います。建具詳細図(1)を正とし、ガラスはA:LE6+A6+T8と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>(A-051.054)</p>	<p>図面番号A-054建具詳細図(1)を正とし、ガラスはA:LE6+A6+T8とします。</p>
93	<p>上記質疑が異なる場合、引分け戸横はアルミパネルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>上記のとおりとします。</p>

94	<p>建具詳細図(3)において、AD-1とACW-1の取り合い部にALパネルの記載がありますが、建具表(1)のAD-1の姿図には記載がありません。建具詳細図(3)を正とし、片袖にALパネル付と考えて宜しいでしょうか。 (A-051.056)</p>	<p>図面番号A-056建具詳細図(3)を正とし、片袖にALパネル付とします。</p>
95	<p>建具詳細図(4) ㄻ断面において、ACW-2にアルミ水切の記載がありますが、建具表(1)では記載がなく、くい違います。建具詳細図(4)を正と考えて宜しいでしょうか。 (A-051.057)</p>	<p>図面番号A-057建具詳細図(4)を正とし、アルミ水切を設けることとします。</p>
96	<p>確認ですが、ACW-1・2において、複層ガラスの中に強化ガラスが使用されておりますが、飛散防止フィルムの記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。 (A-051)</p>	<p>ACW1の自動扉部および両袖Fix部は飛散防止フィルム張とします。</p>
97	<p>ACW-2の嵌殺し窓部のガラスについて、下記のようにくい違います。建具表(1)を正と考えて宜しいでしょうか。(A-051.057) ・建具表(1)・・・(LE)6+A6+(T)8 ・建具詳細図(4)・・・6+A6+6</p>	<p>図面番号A-051建具表(1)を正とします。</p>
98	<p>工事区分表において、ドアガラリが建築工事となっておりますが、建具表に見受けられません。該当なしと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当建具を御指示下さい。 (A-011)</p>	<p>該当なしとします。</p>

99	<p>確認ですが、建具共通事項 一般共通事項 4)鋼製・ステンレス製建具 共通事項において、鋼製枠の場合は、縦枠腰部(H=300)をSUS304 t2.0加工と記載がありますが、全てのSD・SFに適用と考えて宜しいでしょうか。 (A-048)</p>	<p>全てのSD・SFに適用とします。</p>
100	<p>カーテンウォールについて、下記の性能が不明です。御指示下さい。 ・気密性 ・水密性</p>	<p>S-5、A-3、W-4とします。</p>
101	<p>屋内アルミ製建具の表面処理について、下記のように違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。(A-005.051) ・建具表…B-2種 ・特記仕様書…C-2種</p>	<p>図面番号A-051建具表(1)を正とします。</p>
102	<p>特記仕様書(4) 16 建具工事 7 鋼製建具において、簡易気密型が適用する(建具符号:建具表による)となっておりますが、該当建具はSD-3と考えて宜しいでしょうか。 (A-005)</p>	<p>図面番号A-005特記仕様書(4)16建具工事7鋼製建具の簡易気密型を適用する建具はSD-3とします。</p>
103	<p>特記仕様書(4) 16 建具工事 8 軽量鋼製建具において、簡易気密型が適用する(建具符号:建具表による)となっておりますが、建具表に記載がありません。該当なしと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、該当建具を御指示下さい。 (A-005)</p>	<p>図面番号A-005特記仕様書(4)16建具工事8軽量鋼製建具の簡易気密型を適用する建具はLD-1C、LD-2Aとします。(ボトムタイ)</p>

104	<p>工事区分表において、電気錠が建築工事となっておりますが、          図面に見受けられません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当建具を御指示下さい。          (A-011)</p>	不要とします。
105	<p>ステンレス製建具において、仕上が下記の様に違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。          (A-005.052)          ・建具表・・・プール用塗料          ・特記仕様書・・・HL</p>	図面番号A-052建具表(2)を正とし、仕上はプール用塗料とします。
106	<p>建具表(2) SSD-8において、額縁欄にSUS製と記載がありますが、平面詳細図では図示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、仕上・見込等仕様を御指示下さい。          (A-038.052)</p>	不要とします。
107	<p>A-085(A施設名称サイン)についての下記仕様詳細が不明です。御指示下さい。          ①-a: 強化ガラス押さえ縁とありますが、脱着式と考えて宜しいでしょうか。          ①-b: 本体の内部に照明は不要と考えて宜しいでしょうか。          ①-c: 強化ガラスの厚み・サイズ・仕上げが不明です。          ②SUS鏡面5.0tハイブレーション仕上とありますが、どの部分でしょうか。          ③SUS1.5t板金加工とありますが、範囲が不明です。          ④本体の下地材が不明です。</p>	<p>①a: 脱着式とします。          ①b: 不要とします。          ①c: T8(飛散防止フィルム張・乳白)とします。          ②周囲3方フレーム部分とします。          ③本体正面背面とします。          ④スチール角パイプ溶接組錆止塗装とします。</p>
	(外構)	

108	<p>植栽工事について、凡例が消されていますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。 (A-092)</p>	<p>別途工事とします。</p>
109	<p>コンクリート舗装及びレンガタイル舗装、インターロッキング舗装の土間コンクリートについて、無筋と考えて宜しいでしょうか。有筋の場合は、仕様を御指示下さい。 (A-093)</p>	<p>溶接金網、6φ × 150角とします。</p>
110	<p>スロープ部のコンクリート舗装について、表面仕上が不明です。刷毛引き仕上げと考えて宜しいでしょうか。 (A-092)</p>	<p>刷毛引き仕上げとします。</p>
111	<p>インターロッキング舗装の記号について、図中に見当たりません。計画建物西側斜線範囲と考えて宜しいでしょうか。 (A-092)</p>	<p>図面番号A-092外構図(2)インターロッキング舗装の範囲は、別添のインターロッキングの舗装範囲図によるものとします。</p>
112	<p>下記項目内のメーカー品番を御指示下さい。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンガタイル</li> <li>・インターロッキングブロック</li> <li>・インターロッキング舗装用化粧蓋</li> <li>・タイル舗装用化粧蓋</li> <li>・化粧コンクリートブロック t120</li> </ul> </p>	<p>・レンガタイル→(株)LIXIL「ピアッツァ OXシリーズ」  ※300角品を1/2寸法に加工して使用とします。  ・インターロッキングブロック →(株)ユニソ「ストレートロッキング[ai]透水」厚さ60  ・インターロッキング舗装用化粧蓋→(株)カネソウ「SIW-14」  ・タイル舗装用化粧蓋 →(株)カネソウ「SEW-14」  ・化粧コンクリートブロック t120 →(株)ユニソ「アルタ12W」  ※全て同等品以上とします。</p>



113	<p>レンガタイル舗装及びスロープタイル舗装について、撤去復旧する範囲が不明です。御指示下さい。 (A-096)</p>	<p>レンガタイル舗装は図面番号A-091外構図(1)及びA092外構図(2)に示す範囲とし、スロープタイル舗装は計通建物南側のRCスロープ(踊場及び乗入通路部分)とします。</p>
114	<p>集水枮用グレーチング蓋の材質が不明です。スチール 溶融亜鉛メッキ(一部ステンレス製)と考えて宜しいでしょうか。 (A-094)</p>	<p>集水枮用グレーチング蓋の材質は、図面番号A-092外構図(2)にSUS製と記載のあるもの以外は、図面番号A-008特記仕様書(7)の「21排水工事④グレーチング」のとおり、スチール溶融亜鉛メッキ、歩行用、細目、凹凸形とします。</p>
115	<p>集水枮500角について、詳細が不明です。集水枮450角に倣って宜しいでしょうか。また、グレーチング蓋はステンレス製と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 (A-092.094)</p>	<p>集水枮450角に倣うこととし、蓋はスチール溶融亜鉛メッキとします。</p>
116	<p>集水枮φ600について、仕様が不明です。PC既製品(組立)と考えて宜しいでしょうか。 (A-092)</p>	<p>図面番号A-097外構図(7)に記載の雨水枮600φ詳細図の通りとします。</p>
117	<p>下記項目について、詳細が不明です。御指示下さい。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチ撤去復旧</li> <li>・既設HP段差解消モルタルすり付け</li> <li>・公園銘板撤去復旧</li> <li>・外灯撤去復旧</li> <li>・車止め撤去復旧</li> <li>・案内板撤去</li> </ul> (A-091.092)</p>	<p>ベンチ、公園銘板、外灯、車止めは仮撤去後復旧です。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチ撤去復旧 :W1800×D1300×H1000×1箇所とします。</li> <li>・既設HP段差解消モルタルすり付け →φ800の管同士のつなぎ目に生じた高さ5cm、幅5cm程度の段差を樹脂モルタルにて解消することとします。</li> <li>・公園銘板撤去復旧 :W3000×D500×H1000×1箇所とします。</li> <li>・外灯撤去復旧 :H≒7m程度とします。</li> <li>・車止め撤去復旧 →図面番号A-096参照とします。</li> <li>・案内板撤去 →SUS枠 W1000×H1500とします。</li> </ul> </p>

118	<p>サイン詳細図(1) 凡例A 施設名称サインについて、基礎詳細が不明です。御指示下さい。 (A-085)</p>	<p>W700×H400×L2100 鉄筋 タテヨコ共D-10@200ダブル配筋とします。</p>
119	<p>各撤去項目について、詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリート舗装撤去…土間コン t70 表層のみ撤去</li> <li>②カラーアスファルト舗装撤去…カラーアスコン t30 表層のみ撤去</li> <li>③アスファルト舗装撤去…密粒度アスコン t50 表層のみ撤去</li> <li>④縁石撤去…100/120×150</li> <li>⑤歩車道境界ブロック撤去…180/200×250</li> <li>⑥点字ブロック撤去…300角</li> <li>⑦U型側溝撤去…U-240 蓋付</li> <li>⑧L型側溝撤去…W350</li> <li>⑨防護柵撤去…鋼製 H1100 基礎共</li> <li>⑩案内板撤去…3000×2000程度</li> <li>⑪スロープ床 レンガタイル舗装撤去…レンガタイル、下地モルタルのみ撤去</li> </ul>	<p>撤去項目については下記の通りとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリート舗装撤去…土間コン t70 表層のみ撤去</li> <li>②カラーアスファルト舗装撤去…カラーアスコン t30 表層のみ撤去</li> <li>③アスファルト舗装撤去…密粒度アスコン t50 表層のみ撤去</li> <li>④縁石撤去…100/120×150</li> <li>⑤歩車道境界ブロック撤去…180/200×250</li> <li>⑥点字ブロック撤去…300角</li> <li>⑦U型側溝撤去…U-240 蓋付</li> <li>⑧L型側溝撤去…W350</li> <li>⑨防護柵撤去…鋼製 H1100 基礎共</li> <li>⑩質疑No.117に記載のとおりとします。</li> <li>⑪スロープ床 レンガタイル舗装撤去…レンガタイル、下地モルタルのみ撤去</li> </ul>
120	<p>外構図(1) 凡例C コンクリート雨水桝撤去について、蓋付と考えて宜しいでしょうか。 (A-091)</p>	<p>蓋付とします。</p>
121	<p>外構図(1) 既存建物解体後の現況地盤レベルが不明です。御指示下さい。 (A-091)</p>	<p>既存建物解体後埋戻しレベルは図面番号A-092外構図(2)芝生広場断面図に記載の通りとし、芝生広場四周のレベルは南角41.41、西角41.29、北角42.50、東角41.58とします。</p>

122	<p>下記外構工作物について、配筋要領が不明です。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生木ウッドデッキ下土間コンクリート</li> <li>・スロープ1・2 床・壁</li> </ul> <p>(A-093.094)</p>	<p>土間 :t=150、鉄筋タテヨコ共D-10@200 ダブルチドリクロス  スロープ床:t=200、鉄筋タテヨコ共D-10@200 ダブルクロス  スロープ壁:t=150、鉄筋タテヨコ共D-10@200 ダブルチドリクロス  とします。</p>
123	<p>外構図(6) 仮設通路部 雑石積撤去復旧について、範囲が不明です。御指示下さい。</p> <p>(A-096)</p>	<p>図面番号A-014仮設計画図(1)(参考図)及びA-015仮設計画図(2)(参考図)に記載の仮設通路部分の歩道及び園路に面する部分とします。</p>
124	<p>外構工作物について、鉄筋コンクリート強度及び地業が不明です。特記無き限り下記の様に考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋コンクリート強度…FC-21 S-18</li> <li>・地業…捨コン t50、碎石 t100</li> </ul>	<p>図面番号S-01構造特記仕様書(1)の土間コンクリート仕様によるものとします。</p>

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076  
FAX 06-6858-7225  
E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp